



**伊藤 勇**

保谷伊藤眼科院長  
 大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

伊藤先生の  
**街かど診療室**  
**Q & A**

**中心性漿液性網脈絡膜症について**

ひと昔前までは、中心性網脈絡膜症ともいわれた病気で、働き盛りの男性が見えにくさを訴えてきた時に思い浮かべる病気が、網脈絡膜症とこの病気です。特徴的な症状は、視力低下、小視症、歪みなどです。片眼の場合には気づかないことも多いです。喫煙との関連が強く、実際

私のクリニックで当該患者に話を聞くと、9割以上の確率で喫煙していることが分かります。病態は、視力の機能を司る網脈絡膜黄斑部に血管からの浸出液が溜まり、網脈絡膜を引き起こしている状況です。

治療は、内服(末梢循環改善薬など)や造影検査によって判明した原因網脈絡膜管へのレーザー治療がありますが、脈絡膜側からのびまん性の漏出の際は打つ手がなく、私は大学病院勤務時代はルテインを摂取してもらっていました。その

際の病態が加齢黄斑変性と似ていたためですが、意外と効果はありました。そして現在、このような病態に対して「半量PDT(眼科光線力学療法)」という治療法が開発され効果を発揮しています。加齢黄斑変性に対する治療法としての「PDT」は原因血管を直接焼灼する方法でしたが、のちに脈絡膜(網脈絡膜を栄養する血管膜)変性に至る確率が高いため、選択されなくなってきた治療法でした。これを、侵襲が少ないように容量レーザー量を減らして開発された「半量PDT」は、治療効果が高く、副作用も出ないことから、難治性の中心性漿液性網脈絡膜症に対してかなりの効果をあげてい

☎ **042-439-8123**  
 西東京市北町 1-6-1  
 レッツビルディング 3F  
<http://www.itoganka.com/>  
 ■科目：網脈硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療  
 ■時間：水・土曜午後、日曜、祝日は休診  
※緊急手術は随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	／
14:00~17:00	検査・診察	手術	／	手術	検査・診察	／	／

ます。ただし、入院施設及び専門の医師を有する大病院での治療になります。私のクリニックからも紹介させてもらっております。

気をつけることとして、一度中心性漿液性網脈絡膜症となった際は、将来的に加齢黄斑変性に移行する可能性が高いため、積極的にルテインを摂取してください。